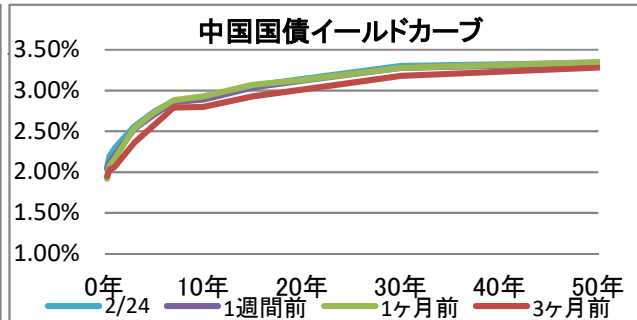
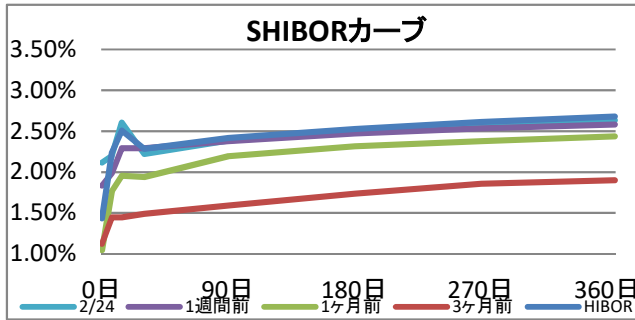


基準レート		2023/2/24	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.8942	+0.0283
	JPY/CNY	5.1267	+0.0078
SHIBOR	3M	2.4160%	+0.0310%
国債利回り	10年	2.91%	+0.02%
上海総合指数		3,267.16	+43.14



(1) 概況

国際金融市場では、米FOMC議事要旨が利上げ長期化を示唆する内容であったほか、堅調な景気と高インフレ継続を示す指標の公表から金融引締め長期化懸念が一段と高まり、債券、株価ともに続落となった。

中国金融市場では、政府の内需拡大・不動産支援策に対する期待がある一方、米中対立激化への懸念が存在する中、3月初に開催される全人代等を見極めたいとのムードが強く、株式市場では上値の重い展開が続き、債券利回りも総じて小動き。為替市場では、米国の利上げ長期化への懸念が強くドル高・元安が進行。

中国では、ロシアのウクライナ侵攻から1年となる節目に欧米と中国との関係の一段の悪化が懸念される状況となる中、李総理は発展改革委において、改革の堅持と網羅的な一連の経済政策の継続実施について強調し、中国人民銀行は、金融政策執行報告(22年第4四半期)で穏健な金融政策を維持しつつ、よりの絞りを有効性を高める方針を示し、住宅賃貸市場の健全な発展を目的に「住宅賃貸市場の発展に対する金融支援に関する意見(バブコメ)」を公表。また、中国人民銀行等は、「横琴・広東マカオ協力区と前海・深圳香港現代サービス産業協力区の建設に対する金融支援に関する意見」でクロスボーダー貿易決済や投融資の利便性向上等を図る方針を示し、証監会は、ストックコネクトにおける取引可能日(香港及び本土何れか一方が休日となる場合の取引)の拡大を正式に公表し、国内企業の海外上場に関する機密保持等の管理ルールを改定。この間、中国政府が、データセキュリティ上の懸念から、一部の国有企業に対し海外大手4大会計事務所との契約を段階的に打ち切るよう要請し、中国IT企業に対して対話型人工知能「ChatGPT」のサービスを提供しないよう指示したといった報道がされている。また、2月26日から開催されている2中全会では、「党と国家機構の改革案」が議論されるほか閣僚等の人事が内定すると見られている。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日16,620億元に対して、リバースオペ14,900億元と中央国庫現金管理商業銀行定期500億元を実施し、ネットで1,220億元を吸収。

(3) 主な経済指標

特になし。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.4330%	1.7400%	1.5400%	
1W	2.2430%	2.5000%	1.9000%	
2W	2.5090%	2.5300%	2.6000%	2.3000%
1M	2.2850%	2.4000%	2.4500%	2.3000%
3M	2.4160%	3.1000%		2.5000%
6M	2.5280%	3.5000%		2.5800%
9M	2.6120%	3.0000%		2.6800%
12M	2.6800%			2.7300%

中国人民銀行の資金供給により足元の資金需給は改善しているものの、コロナ政策変更後の景気回復への期待やLPRが変更されなかったことや全人代を控えていること等から、四半期末を越える期間の金利水準はじりじりと上昇する展開となった。ただし、ターム物の出合いは極めて限定的で、1ヶ月で2.5%前後の取引が散見される程度となっている。

NCDも、四半期末越の期間の需給はタイトな状況が続いており、金利水準はじりじりと上昇。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.3%台、3ヶ月が2.5%前後、6ヶ月が2.6%前後、1年が2.7%台で取引されている。

(2) 米ドル資金(本土内)

	BID	OFFER
ON	4.60%	4.61%
1W	4.68%	4.70%
1M	4.80%	4.82%
3M	5.05%	5.15%
6M	5.20%	5.30%
12M	5.20%	5.40%

堅調な経済指標やFOMC議事要旨の内容から、金融引締め長期化への懸念が更に高まり、ビッドしっかりの展開となって月内取引中心となり、ターム物の出合いは限定的。ターム物の金利水準は、1ヶ月が4.80%、3ヶ月では5.10%が取り気配となっている。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.06%		2.49%	2.60%	2.79%
6M	2.20%		2.62%	2.70%	2.89%
1Y	2.29%	2.30%	2.74%	2.82%	3.06%
3Y	2.56%	2.65%	2.95%	3.15%	3.77%
5Y	2.74%	2.85%	3.10%	3.39%	4.13%
10Y	2.91%	3.06%	3.35%	3.61%	4.46%

全人代を控えていることや国内経済回復への期待に加え、欧米の経済回復と金融引き締め長期化懸念による債券利回りの上昇等により、中国債券市場では上値の重い（利回り下方硬直的）展開となり、狭いレンジ内での取引が続いている。米国では金融引き締め長期化懸念が更に強まり、10年国債利回りが3.94%（前週比+13bp）に上昇したことから、10年中国国債（2.91%、同+2bp）に対する利回り上回り幅は+103bp（同+11bp）へと更に拡大している。

国内資金需給と国外資金動向の影響を受けたと思われる短期と利率債の利回り上昇により、イールドカーブがフラットニングに、クレジットスプレッドは縮小に、それぞれ転じている。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1M	-148.0 / -146.2
3M	-457.0 / -453.5
6M	-930.0 / -926.0
9M	-1391.0 / -1387.0
12M	-1803.0 / -1796.0

対ドル基準レートは6.8942と前週末比+283pipsのドル高元安、対円基準レートは5.1267と同+78pipsの円高元安と、市場でのドル高を主因とする元安を受けた設定となっている。中国国内市場では、米国での金融引き締め長期化懸念を背景に週を通じてドル高が進む展開となり、節目と見られていた6.9をあっさり抜けると6.94台まで上昇して週末を迎えている。

先物は、米国金融引き締め政策の長期化懸念が一段と強くなったものの短期の金利水準に大きな変化がなかったことや、人民元金利水準もやや上昇したことから、狭いレンジ内での取引に終始し、1年物も-1700台での取引が続き週末に-1800近辺までマイナス幅を拡大する展開となった。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.35%		1.68%
6M	2.35%	2.54%	1.70%
9M	2.37%	2.60%	1.75%
1Y	2.41%	2.71%	1.95%
3Y	2.72%	3.08%	2.05%
5Y	2.93%	3.37%	
7Y	3.05%	3.53%	
10Y	3.19%	3.67%	

スワップ金利は、前週に続き債券利回りの上昇により上昇し、債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは拡大している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。